

旧常盤小学校公募提案型売却における優先交渉権者の辞退及び
次点交渉権者との契約に向けた協議について

旧常盤小学校公募提案型売却について、優先交渉権者であるグローバル・インディアン・エデュケーション株式会社（以下「G I E 社」）より7月23日付で契約を辞退する旨の届出書が提出されました。これに伴い、今後は次点交渉権者と売買契約の締結に向けた協議を行うこととしましたので、以下のとおりお知らせします。

1 旧常盤小学校公募提案型売却について

(1) 施設概要

- ・所在地：札幌市南区常盤6条2丁目
- ・敷地面積：16,294㎡ ・延床面積：5,899.44㎡
- ・建築年：平成2年（1990年） ・閉校年：令和3年（2021年）3月

(2) 主な公募条件

- ・地域貢献活動に関する条件
 - 【条件①】地域コミュニティの維持・向上につながる場を設けること
 - 【条件②】緊急時の避難場所として、地域防災に協力すること
- ・最低売却価格 22,200,000 円（税抜）

(3) 公募提案型売却の経緯

- ・令和3年(2021年)7月～9月：1回目の公募 応募なし
- ・令和4年(2022年)12月
～令和5年(2023年)2月：2回目の公募 3者から応募、選定に至らず
- ・令和7年(2025年)2月～3月：3回目の公募 5者から応募
- ・同年5月20日：要件を満す4者に対しヒアリング審査を実施し、最優秀提案者（G I E 社）及び、次点提案者を選定
- ・同年6月17日：G I E 社を優先交渉権者に決定 ※次点交渉権者も同時に決定

(4) 芸術の森地区住民への対応状況

- ・令和7年(2025年)9月27日：G I E 社主催による地域説明会
- ・同年12月1日～
令和8年(2026年)1月9日：芸術の森地区に事業計画等を全戸配布し意見収集
- ・同年5月1日：収集した意見等に対するG I E 社及び札幌市の回答を公表

2 優先交渉権者の辞退について

(1) 対象事業者：G I E 社

(2) 辞退届受理日：令和8年7月23日

(3) 辞退の理由

- ・芸術の森地域は、インターナショナルスクールの運営において優れた条件を備えた環境であり、これまで開校に向け強い熱意をもって取り組んできた。
- ・しかし、昨年9月以降、事実と異なる情報の流布や抗議活動などが続き、今後も継続する可能性が否めない状況と考えている。
- ・一部の誤った情報の拡散や抗議活動が学校運営に及ぼすリスクも含め総合的に勘案した結果、本プロジェクトの推進は困難であると最終判断した。

3 次点交渉権者について

優先交渉権者の辞退に伴い、旧常盤小学校公募提案型売却募集要項の規定に基づき、次点交渉権者として選定されていた以下の事業者と売買契約の締結に向けた協議を行います。

(1) 次点交渉権者：社会福祉法人 藻岩この実会

(2) 事業計画・活用内容

障害者就労支援施設、療育支援施設、認可外保育園、居宅介護支援事業所

(3) 主な地域貢献・連携等に関する提案内容

- ・体育館やグラウンド等の地域開放、コミュニティカフェ運営、アート事業実施
- ・災害等の緊急時において校舎及びグラウンドを避難場所として開放
- ・地域行事への参加・協賛、周辺の清掃活動、近隣町内会等との定期的な交流など

(4) 売却価格

22,200,000円（税抜）

4 今後の予定

次点交渉権者と売買契約に向けた協議を進め、地域の皆様へ事業計画等をご説明するプロセスを設けてまいります。

具体的なスケジュールは、今後、決定次第お知らせします。

担当部局

【旧常盤小学校公募提案型売却に関すること】
まちづくり政策局都市計画部地域計画課調整担当
加藤、小林（211-2545）

【インターナショナルスクールに関すること】
総務局国際部国際課交流担当
佐藤、烝野（211-2032）